

平成 26 年度 AOTULE 加盟大学との教育研究連携助成 採択者

〔研究者〕



氏名：安藤 慎治（あんどう しんじ）

所属：物質科学専攻

職名：教授

〔タイトル〕

アジア圏 AOTULE 加盟大学との高分子系学生ワークショップと国際交流

〔背景〕

高分子の科学と工学は、戦後、急速に発達した学問・技術分野であり、これまで米国と日本が世界の双壁として高い研究・技術レベルを誇ってきた。東工大は日本の高分子研究の中心として、数多くの成果と教員数を有している。しかし近年のアジア諸国における研究・技術レベルの成長は極めて速く、韓国・台湾・中国・シンガポールがその中核である。これらの国では、企業の研究開発レベルが未だ十分でないため、国立の理工系大学と国立研究所が基盤研究のみならず応用・開発研究も担っており、特に AOTULE メンバー校である KAIST, 台湾国立大, 清華大, 南洋理工大の 4 校は、極めて高い研究開発力と人材養成力を有している。次代の日本の高分子研究を担う東工大の大学院生にとって、これらアジア圏の学生と交流し、自らの研究成果を伝えるとともに、彼らの研究姿勢や文化・世界観を知ることは極めて意義深いと考える。

〔目的〕

今冬(12月)、上記 4 大学の高分子系の有力教授が国際学会の招きで来日されるのを機に、当該大学の大学院生 約 11 名に来日してもらい、東工大工学系の大学院生とともに高分子科学・工学の国際ワークショップ (WS) を開催するとともに、各種の研究交流を行う企画(プログラム)を立案した。この WS は工学系 MISW に倣い、東工大の高分子系 5 研究室の大学院生が中心となって計画・実行することとし、教員はアドバイザーとして参加する。また、今年の東工大開催を初回として、今後は海外参加の 4 大学でも同様のプログラムを開催していただけるよう働きかける。

〔実施計画概要〕

上記の AOTULE 加盟大学 4 大学から修士課程または博士課程初年度の大学院生それぞれ 2~3 名を東工大に招待し、東工大工学系の高分子科学/工学系専攻(物質科学専攻、有機・高分子物質専攻)の大学院生とともに、英語による研究ワークショップ(WS)を行い、次いで国内学会の聴講と関連研究室の訪問を通じて交流を行う。本国際 WS は、英語による口頭発表(発表 10 分+質疑 5 分)を基本とし、MISW とほぼ同様の形式とする。東工大からの発表予定者は約 11 名で、博士課程進学予定または進学に関心のある修士課程学生に主眼を置いて、学内の関連専攻から公募する。これに、国内他大学から推薦された大学院生数名を加え、合計 26 名の WS(終日開催)とする予定である。国内の滞在期間を通じて、活発な学生間交流を促し、日本人院生の日々の研究活動とグローバルな活躍へのモチベーションと高めるとともに、あわせて修士学生の博士課程進学への動機付けとなることも期待している。